

▶ 開催概要

日時	第1回 2020年 9月 3日(木) 14:00~17:30 (終了後懇親会) 第2回 2020年 9月10日(木) 14:00~17:30 第3回 2020年 9月17日(木) 14:00~17:30 第4回 2020年 9月23日(水) 14:00~17:30 第5回 2020年10月 8日(木) 14:00~17:30 第6回 2020年10月14日(水) 14:00~17:30 第7回 2020年10月28日(水) 14:00~17:30 (終了後修了式・懇親会) ※修了式は、状況に応じて可能な方のみ、集合型を併設して実施する可能性があります。
場所	東京都千代田区丸の内1-5-1 新丸の内ビルディング10階 京都アカデミアフォーラム in 丸の内 オンラインでの実施
対象	事業会社(財務・経理・戦略・企画部門等)の社員や役員、社外役員、金融機関の社員などで、ファイナンスと企業価値評価について、短期間で正しい知識を修得したいとお考えの方々。あるいは、知識を体系的に整理し、実践力を強化したいとお考えの方々。
持ち物	演習用PC(エクセルが使えるもの)
定員	30名
受講料	30万円(消費税込)
申込み先	https://www.kyodai-original.co.jp/?p=7040 
申込締切	2020年8月26日(水)
主催	京大オリジナル株式会社
共催	京都大学経営管理大学院(京大MBA)
問合せ先	京大オリジナル株式会社 研修・講習事業部 TEL:075-753-7778 E-mail:kensyu@kyodai-original.co.jp

▶ キャンセルについて

お客様のご都合により、お申し込み後にキャンセルされる場合は、以下キャンセル料を申し受けます。

- (1) 開講日の7日前から前々日 受講料の30%
- (2) 開講日の前日から当日 受講料の100%

最低履行人数に満たない場合、開催を中止する場合がございます。その場合、上記に関わらず全額返金いたします。



京大MBA

企業価値評価とファイナンス 2020

—理論・実践・モデリング—

<オンライン>

短期集中講座

本講座は、京都大学MBA(京都大学経営管理大学院)が開講しているファイナンス関連の講座(基礎講座、専門講座、実務講座)の中から、短期集中として有益な部分を集約して体系化し、実務科学的なパートを組合せた京都大学のオリジナル講座です。

今回が4回目となる本講座は、延べ88名の方にご受講いただいております。グローバルスタンダードなファイナンスと企業価値評価(バリュエーション)の理論と考え方を解説し、欧米や日本のMBAで用いるケーススタディやエクセルによる財務モデル(モデリング)演習を通じて、実践的なバリュエーションと財務的意思決定のトレーニングを行います。

経営目標としての企業価値の向上、経営戦略手段や事業ポートフォリオの組替え手段としてのM&Aの普及、コーポレートガバナンス改革による資本利益率と資本コストを重視した経営、投資家とのエンゲージメントなど、現代と将来の企業経営においては、ファイナンスと企業価値評価に関する知識が必須になっています。

本講座で得られること

- ファイナンスと企業価値評価について正しい知識を修得し、実践力を身につける
- ある程度の知識をおもちの方は、知識の体系的な整理と実践力の強化
- 京都大学での研究や教育に関与しながら、実務フロンティアで活躍する講師陣によるセッションを通じて、科学的で実践に役立つヒントを得る
- 同じ目的をもつ方々との交流

▶ 講座スケジュールと内容

第1回 9月3日(木) 14:00～17:30 ~~— 終了後懇親会 —~~

「ファイナンスと企業価値評価の基礎」 「資本コストの推定」

講師 砂川 伸幸

- 本コース紹介
- ファイナンス論のテーマ(企業と投資家)
- 日本企業の価値向上経営と求められるファイナンシャル・リテラシー
- DCF法(割引現在価値法)と価値ドライバー
- 価値創造の原則
- エクセル演習
- リスクとリターンの関係
- ポートフォリオとCAPMの考え方
- 資本コストと算出方法
- WACC(加重平均資本コスト)の考え方

第2回 9月10日(木) 14:00～17:30

セッション①「資本コストと投資評価」

講師 砂川 伸幸

- 実践的なWACCの推定事例
- 全社と事業の資本コスト
- エクセル演習(資本コストの推定)
- NPVとIRRにおける資本コスト
- ホームワーク①

セッション②「機関投資家エンゲージメントの現状」

講師 古川 善之

第3回 9月17日(木) 14:00～17:30

「資本コスト:ケーススタディとグループディスカッション」 「海外投資の資本コスト」

講師 砂川 伸幸

- ケース(資本コストの算出、事業部別の資本コスト)に関するグループディスカッション
- 海外投資の資本コストと海外投資評価の基本的考え方
- エクセル演習
- 資本コストの算出と利用に関する意見交換

第4回 9月23日(水) 14:00～17:30

セッション①「投資評価の演習」 「企業価値評価入門」

講師 砂川 伸幸

- フリー・キャッシュフロー(FCF)の概念
- 財務三表とFCFの関係
- 投資評価における注意点
- モンテカルロシミュレーション
- エクセル演習
- 企業価値評価のフレームワーク
- ホームワーク②

セッション②「ESGのフロンティア」

講師 加藤 康之

第5回 10月8日(木) 14:00～17:30

セッション①「ケーススタディ:戦略とバリュエーション」

講師 朝岡 大輔

セッション②「M&Aによる価値創造とコンピテンシー」

講師 佐藤 克宏

第6回 10月14日(水) 14:00～17:30

「企業価値評価:理論と演習」

講師 砂川 伸幸

- 企業価値評価のフレームワーク
- DCF法による企業価値評価(WACC法)
- 予測期間と継続価値
- 投資と成長率
- マルチプルとDCFファクター
- クロスボーダーの企業価値評価
- M&Aシナジー効果の定量化とシミュレーション
- エクセル演習
- ホームワーク③

第7回 10月28日(水) 14:00～17:30 ~~— 終了後懇親会 —~~

セッション①「ベンチャー企業の評価」 「資本政策と企業価値」

講師 砂川 伸幸

- ベンチャーとアーリーステージの評価
- 資本構成と配当政策の理論
- 現実的な資本政策(実証研究の紹介)

セッション②「企業価値評価の実務と注意点」

講師 野口 真人・山田 昌史

修了式(修了証書授与) →修了式は、状況に応じて可能な方のみ、集合型も併設して実施する可能性があります。

※実施内容に変更はありませんが、日程ごとのコンテンツの順序は変更になる可能性があります。
※オンライン講義を組み合わせての実施の予定もございます。(もし集合型での実施が困難な場合はすべてオンラインでの実施となる可能性もございます。実施形式(オンラインへの切り替え)などはHPを御覧ください。)

▶ テキストと参考文献 最初の講義時に下記2冊を配布します。

- 砂川伸幸『コーポレートファイナンス入門(第2版)』日経文庫
- 砂川伸幸・笠原真人『はじめての企業価値評価』日経文庫
- ※ 講義資料とエクセル演習で用いるシートなどは適時配布します。

▶ 講師紹介

伊サガワ ノブユキ 砂川 伸幸
京都大学経営管理大学院・経済学部教授
日本経営財務研究会会長、日本ファイナンス学会理事、日本証券アナリスト協会検定試験委員、船井総研ホールディングス社外取締役、証券会社勤務、神戸大学教授などを経て、2016年より京都大

カトウ ヤスユキ 加藤 康之
GPIF経営委員 京都大学経営管理大学院客員教授
専門分野は、金融工学、ファイナンス理論、投資理論。(株)野村総合研究所、野村証券(株)金融工学研究センター長、執行役を経て、2010年から京都大学教授。2019年から現職。他に

アサオカ ダイスケ 朝岡 大輔
京都大学経営管理大学院客員准教授、明治大学商学部専任講師
政府系金融機関にてM&A実行、海外投資および経営計画策定、国土交通省にて空港民営化に従事。日本証券アナリスト協会検

サトウ カツヒロ 佐藤 克宏
京都大学経営管理大学院非常勤講師
企業金融、M&A、国際資本市場、プロジェクトファイナンス、ストラクチャードファイナンス、経営戦略、マーケティング、オペ

ノグチ マヒト 野口 真人
ブルータス・コンサルティング代表取締役社長、京都大学経営管理大学院特命教授
京都大学 経済学部卒業。みずほ銀行(旧富士銀行)、JP.モルガン・チェース銀行、ゴールドマン・サックス証券を経て2004年に株式会社ブルータス・コンサルティングを設立。

ヤマダ マサシ 山田 昌史
ブルータス・コンサルティング取締役、京都大学経営管理大学院客員教授
組織再編・種類株式等の有価証券発行を中心に様々なフェーズの資本政策関連のアドバイザー業務に従事。最近のプロジェクトとしては、年間多数の上場会社の公開買付け、株式交換、スクイーズアウトによる完全子会社化、共同株式移転など

フルカワ ヨシユキ 古川 善之
国内大手機関投資家 勤務
財務審査部、財務部、資本市場営業室、総合法人部等で、審査業務、ストラクチャードファイナンス組成業務、リレーションシップマネジメント業務を担当。国際公認投資アナリスト、日本証券アナリスト協会認定アナリスト、技術士(総合技術監理部門、経営工学部門<金融工学>)、金融戦略MBA(一橋大学)、京都大学博士(経営科学)

●過去参加者の声(抜粋)

【プログラム全体に対する感想】

- ◆ 理論的な丁寧な解説と、それを踏まえた実務的な論点の解説が大変有意義でした。
- ◆ バリュエーション、企業価値評価の大枠を理解できました。特に資本コスト、CAPMの項目が参考になりました。
- ◆ ファイナンスに関して体系的かつ演習により実践的でもあり、参考になった。
- ◆ 非常にレベルの高い内容で、かつ実務にも活かせる内容でした。
- ◆ 単なる計算方法だけでなく、なぜそう考えるのかという点をよく理解できる講義でありがたかったです。
- ◆ ファイナンスの講義を受けるのははじめてでしたが、実践的な話も聞けたので非常に満足しております。
- ◆ 実際にエクセルを使った実践的なケーススタディも使っていただいたのでよりよく理解することができました。

【今後の業務に生かせる気づき】

- ◆ IR部門にいるので投資家への説明ストーリーの構築に活用していきたい。
- ◆ 事業評価やM&A業務などにこれから取り組んでいきたいと思えます。
- ◆ 社内資料を見た時にモデルが理解できるようになった。
- ◆ コーポレートファイナンスがあまり浸透していないため、少しずつ浸透させられるように進めていきます。
- ◆ 企業内においてもう少しファイナンスの内容を充実させる必要があると感じました。
- ◆ 当社は企業価値評価が浸透していないが、ROICについては1年前よりスタート。分野を広げるよい機会になった。
- ◆ 投資家と対峙する時の、論理的コミュニケーションをイメージできました。
- ◆ 度々、企業名を挙げて、先生が受講生に確認されてましたが、「ああ、あの企業は進んでるんだなあ」とその差を痛感しました。そういう企業から来た方の発言や考え方は参考になりました。講義、本、ケース、資料などを通じて、「ファイナンスに基づいて、論理的な判断を下す」という役割の重要性を知り、広大な世界の入り口に立ったと理解しています。

●過去参加企業(一例)

※社名は五十音順

- AGC株式会社
- 関西電力株式会社
- 株式会社コメダ
- 堺化学工業株式会社
- 塩野義製薬株式会社
- 東芝機械株式会社
- 日東電工株式会社
- 日本たばこ産業株式会社
- 野村不動産ホールディングス株式会社
- パナソニック株式会社
- 株式会社日立製作所
- 株式会社フェリシモ
- フジッコ株式会社
- 古野電気株式会社
- 株式会社丸井グループ
- 三菱UFJリース株式会社
- 株式会社メタルワン
- 大和工業株式会社
- 株式会社ユーザベース